

国家公務員試験ガイド 2026 一般職

自分の意志で、この国の未来に関わる。



自らの翼で、 この国の未来に挑む。

国家公務員の仕事ってなんだろう？

このパンフレットを手に取ったみなさんはそう思っているかもしれません。

私たちの仕事は国全体に関わる業務を行うこと。

人々の暮らしをより豊かにする政策の企画・立案。

必要な政策実現のための調整、政策の実行・フォローアップ。

すなわち、この国に存在するすべての人のための仕事です。

時には、国内にとどまらず国際社会の中で、世界規模の課題に取り組むことも。

担当するミッションはそれぞれの府省で違っても、

共通するのはこの国の人々を想い、考え、実行すること。

そこには、国家公務員でしか経験できない社会貢献があります。

あなたの考える豊かな暮らしとは？

あなたの考えるこの国に足りないものは？

人の力は国の力。

一人ひとりの挑戦が国づくりのための鍵となります。



目次

03	目次
04	国家公務員の概況
05	各府省の役割
10	若手国家公務員に聞いてみた!
11	採用担当者に聞いてみた!
12	職員紹介 私はここで何をするか?
12	●行政(本府省)
15	●行政(地方機関)
17	●行政(地方機関)、デジタル・電気・電子
18	●機械、土木
19	●建築、物理
20	●化学、農学
21	●農業農村工学、林学
22	ワークライフバランス
24	一般職試験(大卒程度試験)の概要、給与・勤務時間など
25	試験から採用までの流れ、官庁訪問
26	人材育成
	●研修と多様な勤務経験
	●官民人事交流 ●国内外の大学院への派遣
27	一般職試験(大卒程度試験)府省等別・試験の 区分別採用状況

職員の所属(役職)は、原稿執筆時のものを記載しています。



国家公務員とは？

憲法により「全体の奉仕者」とされ、公のための仕事に携わる公務員は

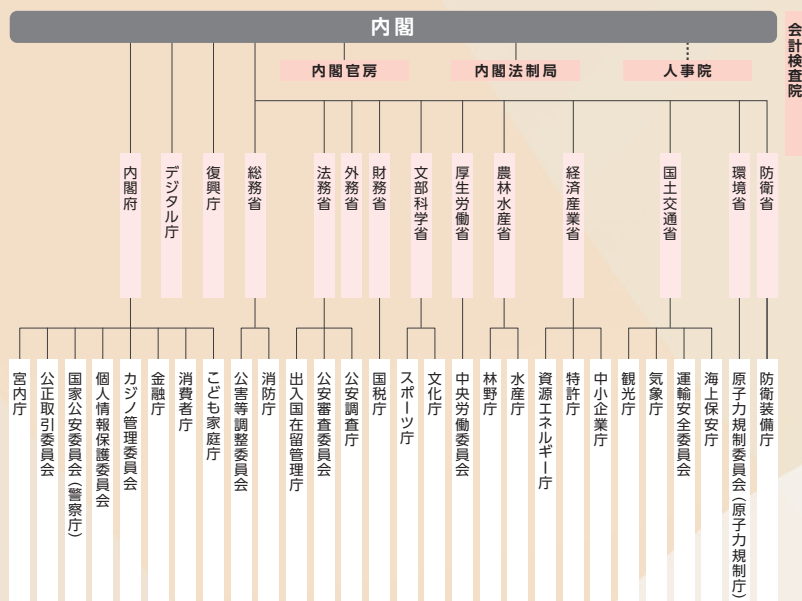
大きく国家公務員と地方公務員に分けることができます。

国の業務に従事する国家公務員は、特別職と一般職があります。

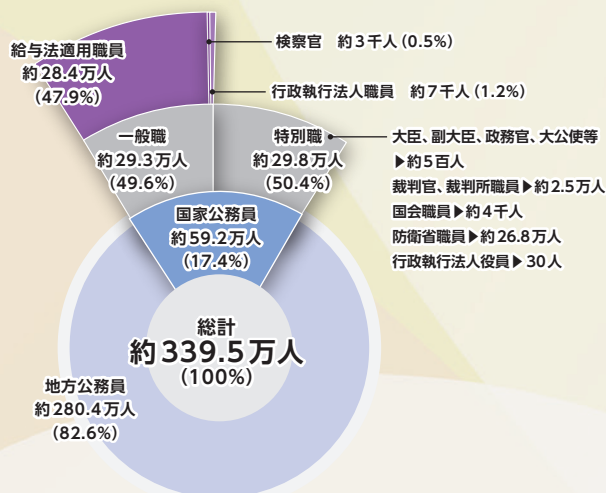
みなさんが頭に思い浮かべる国家公務員とは、各府省で働く一般の行政官や、外交官、税務職員などではないでしょうか。

これらのほとんどは一般職の国家公務員に分類されます。

国の行政組織



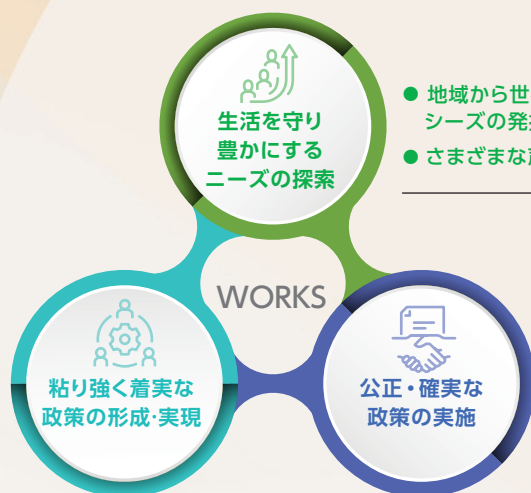
公務員の種類と数



- 1 国家公務員の数は、2を除き、令和7年度未予算定員である。
- 2 行政執行法人の役員数は、「令和6年度独立行政法人等の役員に就いている退職公務員等の状況の公表」における令和6年10月1日現在の常勤役員数であり（内閣官房内閣人事局資料）、行政執行法人の職員数は、「令和7年行政執行法人の常勤職員数に関する報告」における令和7年1月1日現在の常勤職員数である（総務省資料）。
- 3 地方公務員の数は、「令和5年4月1日地方公務員給与実態調査結果」における一般職に属する地方公務員数である（総務省資料）。
- 4 数値は端数処理の関係で合計しない場合がある。
- 5 このほか、一般職国家公務員の非常勤職員（行政執行法人の職員等を除く）の数は、「一般職国家公務員在職状況統計表（令和6年7月1日現在）」により約15.4万人である（内閣官房内閣人事局資料）。
- 6 国家公務員の内訳の構成比（ ）は、国家公務員約59.2万人を100としたものである。

国家公務員の仕事とは？

- 政策・法令の立案、政策実現のための調整
- 国内にとどまらない世界規模の課題への挑戦



- 地域から世界へ、地球から宇宙、未来を見据えたシーズの発掘
- さまざまな声に耳を傾け、必要な政策を模索

- 国民への行政サービスを提供するための予算、施設、人員の確保
- 政策の実行、指導、監視、フォローアップ

具体的な業務内容は各府省や担当するプロジェクトによってさまざまですが、全体の奉仕者として連携しながら、政策を実際に前へ進めていく。それが国家公務員の仕事です。



会計検査院

財政執行の監視人

内閣から独立した憲法上の機関として、国や法律で定められた機関の会計を検査し、会計経理が正しく行われるように監督する職責を担う。



人事院

公務員を元気に 国民を幸せに

中立・第三者機関として、人事行政に関する公正の確保及び国家公務員の利益の保護等に関する事務を行う。



内閣官房内閣情報調査室

内閣の情報アドバイザー

官邸直属の情報機関として「内閣の重要政策に関する情報」の収集、分析、報告を行い、官邸の政策決定、遂行を支援する。



内閣法制局

Cabinet Legislation Bureau

内閣法制局

法令・条約の審査役

法制的な面から内閣を直接補佐する機関として置かれており、閣議に付される法律案、政令案及び条約案の審査や法令の解釈などの任務を担う。



内閣府

日本の未来を切り拓くデザイナー

経済財政政策、男女共同参画、防災、沖縄政策等の国の重要政策に関する企画立案・総合調整や、栄典、政府広報等の国家基盤となる業務を担う。



宮内庁

Imperial Household Agency

宮内庁

皇室のサポート役

皇室関係の国家事務を担い、国民と皇室の橋渡しを行う。



公正取引委員会

市場の番人

独占禁止法等に基づく取締りや競争環境の整備を通じて、市場の公正かつ自由な競争を維持・促進し、創意あふれる事業者が前進できる社会を実現する。



警察庁

市民の安全を守るリーダー

警察に関する制度の企画・立案、都道府県警察の指揮監督を行い、公共の安全と秩序を維持する。





個人情報保護委員会

個人情報の保護と利活用を推進する

個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図る。



カジノ管理委員会

クリーンなカジノの守り人

IRを支えるカジノの厳格な規制によりその健全な運営の確保を担う。



金融庁

金融で未来をデザインする

金融制度の企画立案・金融事業者のモニタリング・金融外交等を通じ、金融の力を活用して社会・経済の諸課題の解決に取り組む。



消費者庁

消費者行政の舵取り役

消費者の利益の擁護及び増進に関する基本的な政策の企画・立案等を担う。



こどもまんなか
こども家庭庁

こども家庭庁

こども・子育て政策の司令塔

こども・若者や、こどもたちを育て、支えているみなさんの声をまんなかに捉えた政策を推進し、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか」社会を実現する。



デジタル庁

デジタル庁

デジタル社会形成の司令塔

未来志向のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を大胆に推進し、デジタル時代の国民のインフラを一気呵成に作り上げることを目指す。



総務省

総務省

行政全体のマネージャー

国の行政制度、地方行財政、情報通信等、国家の基本的仕組みに関わる諸制度を担い、新時代の日本を創成する。





消防庁

災害対策の司令塔

平時は消防に関する制度の企画・立案を行い、大規模災害時は緊急消防援助隊の派遣等のオペレーション業務等を行い、国民の安心・安全を担う。



法務省

公正・公平な社会の実現

社会の安定と正義の実現に貢献する広範な分野をカバーしており、その業務内容は司法制度の企画・立案、検察業務、犯罪者の矯正や更生保護、人権擁護、国籍・戸籍・登記・供託事務など多岐にわたる。



出入国在留管理庁

外国人共生で
未来を拓く挑戦者

「世界をつなぐ。未来をつくる。」を合言葉に、外国人との共生社会の実現を担う政府の司令塔として、出入国の管理、在留の管理、受入れ環境整備、退去強制、難民等の認定の5つの分野で日本社会を支える。



公安調査庁

情報のプロフェッショナル

暴力主義的破壊活動を行う危険性のある団体を調査し、得られた情報を団体の規制に活用するほか関係機関に提供することで、日本の安全に貢献する。



外務省

国際社会における日本の体現者

国際社会が時代を画する変化に直面する中、日本の安全と繁栄を確保すべく、安全保障、経済、国際協力、国際法、広報文化等の幅広い分野を通じて対外関係を維持・発展させること。



財務省本省

よりよい日本社会をつくる

日本の予算・税制等の財政政策、為替・金融市場等のマーケット関連政策、経済外交・関税交渉等の国際関連政策の企画・立案などにより、国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ。



財務省財務局

国と地域をつなぐ

財務省の総合出先機関として、また、金融庁からの事務委任を受け、財政・国有財産や金融等に関する施策を実施し、国・地域社会の両方に貢献。



財務省税関

国のゲートキーパー

水際における密輸取締、適正かつ公平な関税等の賦課徴収、貿易円滑化の推進等を目的に貿易秩序と国民の安全・安心を守る業務を担う。





国税庁

日本を根底から支える

約5万6千人の職員が一丸となり、「適正・公平な課税及び徴収の実現」という揺るがない正義感を持ち、この国の原動力として日本を支える。



文部科学省

文部科学省

未来づくりのプロフェッショナル

教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の振興等を通じ、人を育て、知恵を生み出し、未来を創る重要な使命を担う。



厚生労働省

かけがえない生活の「要」

国民生活の保障・向上、経済発展に寄与するため、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上・増進、労働条件や労働環境の整備、職業の確保等を担う。



農林水産省

農林水産省

食と生命の守護神

生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくため、食料の安定供給の確保、農林水産業・農山漁村の振興、森林の整備・保全、水産資源の保存・管理等を担う。



経済産業省

日本経済の牽引役

「未来に誇れる日本をつくる。」をミッションに、経済活力の向上を図る産業・イノベーション政策、対外経済関係の発展に向けた通商・貿易政策、経済社会活動の基盤となる資源・エネルギーの安定供給を推し進める。



特許庁

「知的財産」の守り人

特許、実用新案、意匠及び商標に関して、審査及び事務、施策の企画・立案やユーザー支援等を行うことを通じ、産業の発展に寄与する。



国土交通省

国土交通省

豊かな暮らしと経済の実現

多様な「インフラツール」を駆使して国内外の“現場”を動かすことで、豊かな暮らしを支え、経済を活性化させる。





気象庁

科学技術を駆使する防災のプロ

気象、地震、津波、火山活動等の自然現象を監視・予測し、利用目的に応じた適時的確な気象情報を作成・提供を行うことで、自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに寄与する。



運輸安全委員会

事故調査で運輸の安全を担う

航空・鉄道・船舶事故の原因及び被害の原因を究明するための調査を行い、原因関係者に勧告を行うこと等により、再発防止・被害の軽減に寄与する。



海上保安庁

日本の海の守護神

海上における治安の確保、領海警備、海難救助、海洋環境の保全、自然災害への対応、海洋調査、船舶交通の安全確保など多種多様な業務を担う。



環境省

地球と人類の未来の守り人

気候変動対策、資源循環促進、生活環境保全、生物多様性保全、東日本大震災からの復興・再生等の施策を通じ、創設以来の使命である「人と環境を守る」取組を追求する。



原子力規制庁

世界最高水準を目指す確かな規制

「原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守る」という理念のもと、原子力施設の許認可に係る審査・原子力施設での保安活動の監視・原子力災害対策・放射線規制・広報・国際業務等を行う。



防衛省

平和と独立を守る「最後の砦」

私たちの日常、すなわち社会・経済・文化などは「平和」という土台の上に築かれている。戦後最も厳しく複雑とされる安全保障環境の中、国家の平和と独立を守るため、安全保障政策の企画から実行までを担う。



防衛装備庁

防衛装備庁

安心と信頼の防衛装備品を

防衛装備品等について、その開発及び生産のための基盤の強化を図りつつ、研究開発、調達、補給及び管理の適正かつ効率的な遂行並びに国際協力の推進を図ることを任務とする。





電話対応で困っていた際、
近くの先輩が電話をかわってくれた時は
優しさが身に沁みました



サポートするから

一歩踏み出してやってみよう!

採用時を知る先輩に
担当者として対等に接してもらえた時、
認めてもらった気がして嬉しかったです

必死に取り組んだ
仕事の評価され、
責任ある仕事を「任せたい」
と言ってもらえた



業務で分からないことは、
何回でも聞いて大丈夫!

新しいことを前向きに
学び続けることが
楽しく仕事をするコツ



分からないことがあったら
何でも質問して!という上司からの言葉



印象に残った
上司・先輩のことや、
上司・先輩にかけられて
嬉しかった言葉を教えて!



VO

若手職員

他省庁の法解説や
海外情報の調べが、
とても速いし的確だね

上司から「周りの人は全て教材」
と言われたことが
印象に残っています



先輩に業務の取組方を
褒められたことが
今でも仕事の
モチベーションになっています

新人時代の上司からの
「努力は必ず誰かが
見ている」という
言葉が嬉しかったです

先に異動した先輩が
今でも気にかけてくれているのが嬉しいです



先輩に
「安心して任せられるね」と
言われたこと

「迷ったときは国民の利益を最優先」
「我々は血税を使っている」
このような意識高い先輩・上司がいて、
聞けば誰でも何でも教えてくださいます!

ありがとうございます



異動の際、上司から言われた、
「あなたにたくさん助けられました!」
との一言



採用担当者に聞いてみた！

幅広い仕事があり、
成長機会が多いことです！

本府省

国の根幹に関わることができる
「スケールの大きさ」と、
多種多様な経験ができる
「業務の幅広さ」です

本府省

自然保護官など他職種と連携し、
より現場に密着した業務を行います

地方機関

他府省庁からの刺激を
多く得られる

本府省

引越しを伴う転勤がほとんどなく、
生活設計を立てやすい

地方機関



本府省、地方機関の
それぞれの良さとは？



思い入れのあるまちで
地域に貢献しやすい！

地方機関

国内外とのステークホルダーと
連携する仕事だからこそ、
経験できることが多い！

本府省

採用担当者

やりがいを感じます
仕事をを行うことに

地方機関

地域に暮らす人々と共に



現場で培った
技術・経験をいかして、
技術施策の立案が可能

本府省

“ 地域の実情や現場の技術ニーズを踏まえた、
地元根ざした活動の実施が可能 ”

地方機関

行政の最前線を
実感できる

地方機関

仕事の規模が大きく
1人1人の
貢献度が高い！

本府省



政策の企画立案に
携わることのできる
充実感！

本府省

行政
(本府省)

会計検査院

三好 遼

会計検査院第3局環境検査課
調査官

2010年採用



一緒に日本の未来を動かす仕事をしましょう

テレワークあり

もっと
詳しく読む



学生時代の専攻と現在の仕事との関係

法学部出身です。非常に基本的なことにはなりますが、行政の仕事は法律に代表される多くのルールに基づいて行うこととなるため、学生時代からこれらのルールに触れる機会が多いことは強みになると思います。また、様々な現場にフィールドワークに赴くゼミに所属していたことが、全国津々浦々、様々な機関に検査に赴く検査院に興味を持つきっかけになりました。

仕事を通じて成長したと感じるエピソード

メイン担当者として携わった案件が検査報告に掲載されたことです。上司や同僚の力を借りながらも、受検庁に検査の結果とそれに対する検査院の考えを説明して理解してもらうこと、自分が作成した検査報告案について上司に説明し院内の会議をクリアするために考え工夫したことなどの、多くのハードルを乗り越えたときに成長したと感じました。

行政
(本府省)

消費者庁

曾我 聖久

消費者庁地方協力課
調整係

2021年採用



消費者行政の司令塔として、安全・安心な社会を実現する

テレワークあり

もっと
詳しく読む



日々の仕事とやりがい

現在は、地方公共団体における消費者行政の強化・推進に向けた取組を支援する交付金に関する制度設計を行っています。地域の消費者行政の現状や課題を把握し、交付金制度の在り方を検討するために、日々、様々な地域に足を運び、多くの関係者と意見交換を行う中で、データからは見えない地域の実情や背景を知ることができるとともに、消費者行政の旗振り役としての自己の業務の重要性を感じることができ、大きなやりがいを感じています。

仕事を通じて成長したと感じるエピソード

総務課調整第一係に所属していた際に、庁の国会関係業務の窓口を担当し、国会での質疑対応や、日々の国会議員や政党とのやり取りなど、様々な関係者とスピード感をもって調整を行う必要がある業務を多く経験しました。これらの業務経験を通じて、国会や政党と行政機関との関係性を学ぶことができたほか、部署異動後も、国会や社会全体の動向を念頭に置き、広い視野を持って仕事に取り組めるようになり、自己の成長を感じました。

行政
(本府省)

財務省

木村 聖哲

財務省理財局
国有財産業務課業務第4係長

2018年採用



財政の視点から社会問題に どう取り組むべきか

日々の仕事とやりがい

現在、私は、「所有者不明土地」に関する業務を担当しています。民間取引や土地利活用の阻害要因として社会問題となっている所有者不明土地の発生予防に資するため、法務省をはじめとする関係省庁と折衝を行いながら、日々、様々な検討を行っています。調整が難航し悩むこともあります。議論を重ねていく中で折衷案を見つけ出し、多くの人と連携を図りながら制度を改善していくことにやりがいを感じています。

仕事を通じて成長したと感じるエピソード

以前に私が在席していた主計局の予算査定業務は、若手職員であっても主体的に進めていく必要があります。復興庁・内閣府の担当者として、相手省庁へのヒアリングや関係書類を通じて施策や事業の内容を把握し、折衝を重ね作り上げた予算案について、根拠を示しながら自分の言葉で上司に説明し、了承を得ました。責任を伴い大きなやりがいのある業務を成し遂げたことで自身の成長を実感した、かけがえのない経験になりました。

テレワークあり

もっと
詳しく読む



行政
(本府省)

文部科学省

野内 瑛里

文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課
障害者学習支援推進室障害者学習支援第二係
2022年採用



障害の有無にかかわらず、共に学び、 生きる共生社会の実現に向けて、多様な人々と共に働く

日々の仕事とやりがい

現在は、「障害者の生涯学習」の推進に関する業務を担当しています。執務室での業務のほか、普及・啓発に係る大臣表彰等のイベントの企画・運営や、「障害者の生涯学習」に取り組む自治体や団体を視察させていただく機会も多くあります。こうした、当事者を含む関係者の方々との関わりや現場を見させていただく機会を通じて、目指す社会像が見えてくると、そしてそこから逆算する形で、施策を組み立て、事業を実施していくことに大きなやりがいを感じます。

仕事を通じて成長したと感じるエピソード

主担当として、イベントの企画・運営をする機会がありました。それまでは、上司の指示を受けて作業をしたり、打合せ等の場面でも上司に前に出させていただくことがほとんどでしたが、そのイベントの開催に当たっては、自分自身が企画案を作り、関係者との打合せを進める等、上司に助言は求めつつも、自分自身が主体となって準備を進めていきました。イベント参加者にも満足いただき、成功を取ることができたときは、成長を感じました。

もっと
詳しく読む



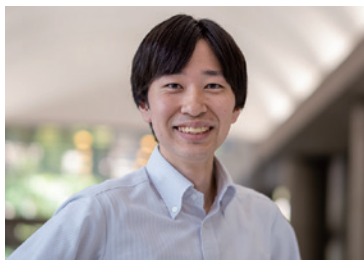
行政
(本府省)

特許庁

堀江 直人

特許庁総務部秘書課
任用第一係

2021年採用



日本の根幹を支える 知的財産権制度に関わることができる

テレワークあり

もっと
詳しく読む



日々の仕事とやりがい

秘書課任用班では、特許庁職員の人事異動等に関わる業務や、新規職員の採用活動を主にしています。

採用活動では、自身の就職活動経験を思い出しながら、どのような採用イベントを開催すれば特許庁の魅力を発信できるか、上司と意見を交えながら企画・運営を行っています。自分のような若手職員の意見にも耳を傾けていただき、チームとして業務を行っていくことに日々やりがいを感じています。

他府省等人事交流

私は、初めての人事異動が独立行政法人への出向でした。職場の雰囲気にも慣れた特許庁を離れ、当初は不安な気持ちでいっぱいでしたが、他機関で働いたことで得た学びは今でも大きな財産となっています。

「外から見た特許庁」というように、新たな視点から物事を考え、アプローチをかけていく意識が、特許庁に帰任してからの業務においても定着してきていると感じています。

行政
(本府省)

環境省

難波 厚

環境省大臣官房会計課
課長補佐

2008年採用



環境保全とそれを通じた 「ウェルビーイング／高い生活の質」の実現を目指す！

テレワークあり

もっと
詳しく読む



日々の仕事とやりがい

現在、予算業務に携わっており、年間約1兆円にも及ぶ環境省予算の要求取りまとめや財務省との折衝等を行っています。同じ省の同僚でも担当事業の成果が乏しかったり、目標と事業内容が整合していないと思えば、徹底的に詰めて事業の改善や事業費の減額・廃止を促します。一方、必要な事業は財務省から何度指摘があろうと何度も折衝を行います。その結果予算が成立したときは、これまでの苦労が報われた気持ちになります。また、予算は国会での議決が必要なため、国会議員・政党への説明や国会審議にも携わりますので、国の仕事のダイナミズムにも触れることができます。

転勤について

約2年間勤務した福島地方環境事務所で感じたことは「視点」の違いと「環境変化」の重要性です。前者は、方針や指示を示す立場から受ける立場になったこと、仕事内容がより地域住民や自治体に近いものとなったことにより、より受け手や現場に寄り添うモノの見方になりました。後者は、福島市という東京と全く雰囲気の異なる場所に身を置くことで、食事や行動パターンといった私生活での変化があり、それが新鮮に感じられリフレッシュできました。今でも福島の日本酒は大好きです。

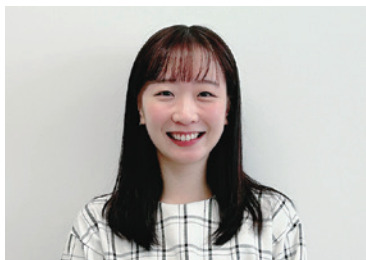
行政
(地方機関)

法務省

渡辺 ほのか

法務省さいたま保護観察所
保護観察官

2020年採用



犯罪や非行のない明るい社会の実現のために、 刑事司法手続のアンカーを担う

もっと
詳しく読む



学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は心理学を専攻し、臨床心理学をはじめ様々な領域の心理学に触れました。2年次からは犯罪心理学をテーマに扱うゼミに所属し、主に矯正・更生保護領域について、現役の保護観察官や社会復帰調整官をお招きして講話をいただいたり、架空のケースを用いて面接のロールプレイを行ったりしました。現在、保護観察官として実際のケースに向き合うに当たり、心理学の知識はもろろのこと、早い時期からより実務に近い学びをさせていただいた経験が活かされていると感じています。

仕事を通じて成長したと感じるエピソード

自分の発言により責任感を持てるようになった点が、一番大きな成長であり、変化だと思います。保護観察を受ける方との面接など、言葉を使って相手に働きかけることが多い仕事なので、できるだけ自分自身の経験や体験を寄せ、重みがある言葉で話すように心がけています。もともと口下手で人と話すのは得意ではありませんでしたが、この仕事を通じて自然と苦手意識が薄れ、今では以前より人前で話すことへの抵抗感もなくなりました。

行政
(地方機関)

財務省税関

山田 悠希

財務省横浜税関業務部
統括審査官(通関第2部門担当) 付

2017年採用



貿易の最前線で国民の暮らしを支える

テレワークあり

もっと
詳しく読む



日々の仕事とやりがい

現在、通関部門に在籍しています。通関部門では、輸出入貨物の申告が正しく行われているかどうかを審査し、貨物について必要な検査を行い、疑義がなければ許可するという業務を行っています。HSコード(関税率決定の基礎となる世界共通の番号)や申告価格が正しいかという税側の側面や、密輸・不正輸出入の阻止の観点から貨物に不審点がないかという関側の側面の両方から審査しています。自分が審査して通関した商品を手に取る人の姿を見ると、自分の仕事が国民の生活に繋がっていることにやりがいを感じます。

転勤について

仙台空港での勤務経験があります。転勤してよかったと感じることは、空港での幅広い業務を経験できたこと、また、雰囲気や仕事の流れ等を経験することができ、業務に対する視野が広がったことです。

また、プライベートの面でも転勤先の食や文化などの魅力に触れることができ、公私ともに充実した毎日を送ることができました。

行政
(地方機関)

厚生労働省

藤岡 海地

厚生労働省
近畿厚生局京都事務所

2023年採用



命を支える医療の質を守り、 社会に安心と信頼をもたらす

日々の仕事とやりがい

保険医療機関の指定や施設基準の受理、適時調査などに取り組んでいます。適時調査では病院に立ち入り、診療体制や運営状況を確認しながら助言を行い、患者にとっても病院にとってもより良い医療提供につなげることができています。実際に病院から感謝されることもあり、大きなやりがいを感じます。また、保険医療機関の指定では、医療協議会において有識者と議論し、慎重に審査を重ねることで、保険診療の質を守る門番役として社会に貢献できることに誇りを持っています。

仕事を通じて成長したとを感じるエピソード

日々の業務に加え、近畿厚生局独自の取組として、他課である地域包括ケア推進課の自治体支援プログラムにも参加しました。普段の業務とは異なり、自治体に直接赴き、地域の課題解決に向けた伴走型の支援に取り組みました。この経験を通じて、現場の声に丁寧に耳を傾ける姿勢が養われ、物事を多角的に捉える力も身につきました。また、自分の普段の業務が地域医療にどう役立っているかを実感でき、仕事への理解と視野がさらに深まりました。

テレワークあり

もっと
詳しく読む



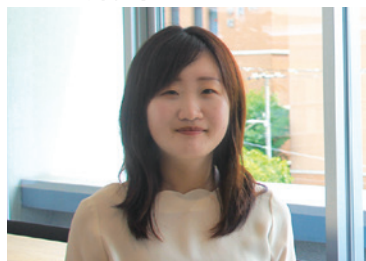
行政
(地方機関)

経済産業省

河野 紗織

経済産業省近畿経済産業局地域経済部
地域経済課産業人材政策係長

2017年採用



産業振興を通じて、 地域経済の成長を支える

日々の仕事とやりがい

現在は産業人材政策の担当として、中堅・中小企業の方々が抱える人材課題の解決を支援しています。社会情勢が変化の中で、自社の採用・育成計画をアップデートし、成長に繋げていただくためのセミナーや、大学・銀行等と連携した取組を企画しています。所属部署だけでなく、外部の支援機関や企業の方々との対話を通じて、より良い支援を検討・実行できる点に日々やりがいを感じています。

転職について

入局6〜7年目の2年間、本省出向を経験しました。本省では、各地方支分部局の方々と連携し、全国各地の課題や取組をとりまとめ、日本全体の地域経済産業政策の検討や予算編成に携わりました。国全体としての政策検討や意思決定の流れを学ぶことができ、帰任後はより幅広い視点で、地方支分部局としての役割を意識しながら業務に取り組めるようになりました。

テレワークあり

もっと
詳しく読む



行政
(地方機関)

国土交通省

向川 亮太

国土交通省近畿地方整備局総務部厚生課
管理係長

2012年採用



過去から未来へ紡がれる、 国民生活の根幹を支える仕事

テレワークあり フレックスあり

もっと
詳しく読む



転職について

採用されてから5年間で本省・本局・事務所の異動を経験しました。めまぐるしい異動に当初は戸惑いも覚えました。比較早い段階で様々な立場で勤務できたことは非常に良い経験になったと実感しています。例えば、新しい制度を施行するにあたっては、本省では制度設計に携わり、事務所では地元の方々と調整を行い、本局では両者のすり合わせ調整役を担うなど、常に物事を各立場からの視点で複合的に考えながら、業務に取り組めるようになりました。

仕事を通じて成長したと感じるエピソード

河川法許可業務を担当する課に所属していたとき、新聞等のメディアに掲載されるような案件を担当していました。事業者・自治体・省内担当など関係者多数のなか調整が難航していましたが、資料作成・各関係者の説明対応など、ひとつずつ進めていく中で一定の結果を出せたことは、現在でも自信に繋がっています。今後、困難な業務に直面した際にも経験を糧とできるよう取り組んでいきたいと考えています。

デジタル・電気・電子

総務省

橋本 真実

総務省統計局統計調査部国勢統計課
統計専門職

2016年採用



国の社会基盤となる統計に 携わることができる仕事

もっと
詳しく読む



日々の仕事とやりがい

人口関連統計を用いて、毎月の人口の推計及び公表を行っています。具体的には、毎月の公表資料や年次報告書の作成及び公表、外部からの照会対応や白書協議等を行っています。また、国会で議論される政策のエビデンスとして使用されるデータの確認や参考資料の作成を行うこともあります。推計を通して日本の現状を間近で見つめることができることや、公表結果が社会をより良くするための基盤として活用されているのを目の当たりにした際にやりがいを感じます。

仕事を通じて成長したと感じるエピソード

公表作業では、集計後の限られた時間で業務を行うことが多く、進捗状況の共有や係内で協力し合うことが欠かせません。業務を行うなかで、日々同僚の方々からサポートをもらった経験から、チームの一員として協力して業務を行うことの大切さを実感しました。この経験を通じ、まずは現状を把握したうえで、自分はどういう場面で周囲にサポートできそうかを考え、実行しながら業務を行うようになりました。



機械

警察庁

長尾 美紀

中部管区警察局情報通信部通信施設課
課長補佐

2004年採用



やりたいを実現する仕事

テレワークあり フレックスあり

もっと
詳しく読む



日々の仕事とやりがい

各部署からの要望を元に事業を発案し、予算要求を行いながらプロジェクトを立ち上げ、実現できるよう計画を立案する仕事です。部署をまたいで調整し、各事業者との打ち合わせも行いながら、プロジェクトを現実化させていきます。自分の発案が具現化されていく過程は、他の業務ではなかなか味わえない貴重なものですし、やりがいもひとしおです。

仕事を通じて成長したと感じるエピソード

警察大学校で職員の教育に携わり、入校生側の「基礎知識を学べる大切さ」だけでなく、組織における人材育成の重要性を実感しました。組織として存続していくためには人材育成が欠かせません。「どのような人材を育成し、どのような知識を持たせるべきか」と組織の未来像を想像しながら考えて教えるようになり、自分の成長を感じました。現在の業務におけるスタンスにもなっています。

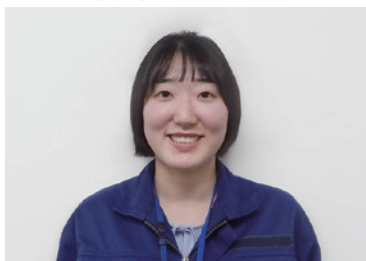
土木

防衛省

丹生石 美桜

防衛省沖縄防衛局調達部土木課

2023年採用



国防の裏に、土木のチカラ

もっと
詳しく読む



日々の仕事とやりがい

日々の業務の中で、基地に出張し、工事監督官として現場を見る機会があります。自分の目で現場を確認することで、図面を見るだけでは分からなかった状況や課題に気づけることも多く、現場に足を運ぶ大切さを実感しています。普段の生活では見ることのできない基地内の特殊な建物の建設に携われるのは、防衛インフラを支えるこの仕事ならではの大きな魅力だと感じています。

転職について

転職が決まったときは、知らない土地で生活することに正直とても不安を感じていました。しかし、実際に暮らしてみると、新しい出会いや発見があったり、新たな現場で経験を積めたりして、転職も案外悪くないなと思うようになりました。転職にはマイナスなイメージを持たれがちですが、実際にその土地に住んでみることで、自分の視野を広げられる貴重な機会だと感じています。

建築

外務省

小林 柁斗

外務省在ガボン日本国大使館営繕班
三等理事官

2021年採用

大使館
sade du Japon
NCELLERIE
réception -



技術力と語学力、2つを武器に 世界で活躍できます

日々の仕事とやりがい

現在は、在ガボン日本国大使館事務所・公邸の新築工事を担当しています。施工は現地業者とともに進めており、設計どおりに工事が進むように監督をするのが私たちの役割です。現地業者が経験のない日本の設計基準で工事を進めるため、何度も業者と打合せをして譲れるところ、譲れないところを判断しながら建物の完成に向けて調整を行っています。

現地業者に対する工事監督のしかた次第で、建物の品質に大きく影響するため重大な責務とやりがいを感じます。

転勤について

外務省では本省と海外の在外公館（大使館など）の異動を、数年おきに繰り返すことが一般的です。それが他の公務員との大きな違いであり、外務省勤務の醍醐味でもあります。私たち技術系採用区分（営繕）では、入省からおよそ2年半後に海外での1年間の語学研修が始まり、その後在外公館での勤務をします。

本省と在外公館の仕事は大きく内容が異なります。各勤務地で違った経験を積むため、広々とした能力を身につけられると思います。

テレワークあり

もっと
詳しく読む



物理

気象庁

岡本 和馬

気象庁大気海洋部予報課
予報係

2017年採用



過去に学び、今を知り、未来を考える

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は物性物理学を専攻しており、超電導物質について研究していました。現在の仕事である気象学が専門ではありませんでしたが、学生時代に学んだ基礎的な物理学の知識は気象学を学ぶ上で大いに役に立っています。また、観測されたデータを解析し、予報に利用していく過程では、学生時代の研究で身に着けた考え方が活かしていると感じます。

日々の仕事とやりがい

採用されてから現職まで予報現業に関わる仕事に携っており、天気予報や注意報・警報など各種気象情報の作成・発信を行っています。また、現職では発表する気象情報の今後のあり方についての検討なども行っており、国民の日々の生活に直結する気象情報を自分の手で作成できることにやりがいを感じています。

テレワークあり

もっと
詳しく読む



化学

原子力規制庁

入口 時代

原子力規制庁原子力規制部
核燃料施設等監視部門

2023年採用



培った論理的思考・科学的知見は、安全へと邁進するために

日々の仕事とやりがい

発電所の他にも核燃料の加工、再処理等を行うサイクル施設や中性子を取り出して利用する試験炉など、原子力施設は多岐にわたり、私はそれら核燃料施設等の検査の取りまとめを行っています。検査を担当する施設それぞれに応じた視点で確認する必要があるという難しさはありますが、そこに面白さを感じています。また、組織として現場を非常に大事にする風潮があり、出張で現場に赴く機会も多く、体験から得る学びはとても大きなものになっています。

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生の頃は物理化学を専攻しており、分光学に関する研究を行っていました。現在所属する核燃料施設等監視部門では、原子炉で使用した核燃料の再処理を行う施設をはじめとした核燃料施設等の検査を担当していますが、所属していた研究室では、まさに使用済燃料を再処理する過程で行われる溶媒抽出に関する分光研究が行われていました。また、他にも核燃料施設では様々な化学工程があり、学生の頃に学んだ知識が役立っていると感じています。

テレワークあり

もっと
詳しく読む



農学

農林水産省

小野澤 綾

農林水産省農産局
果樹・茶グループ・工芸係長

2017年採用



担当品目のエキスパートを目指せる

転勤について

入省1、2年目は中国四国農政局に赴任しました。1年目は補助事業の担当で、中国四国地域の茶や薬用作物の生産振興に取り組みました。自分の担当品目に係る現地調査のほか、担当外の品目の現地調査にも同行の機会をいただき、品目横断的に、生まれ育った関東平野とは異なる中山間地域の現状や、農業従事者の高齢化・人手不足等の課題を目の当たりにしたことで、3年以降の本省での生産振興や新規就農促進の業務を遂行するうえで、政策の目的を強く意識することができるようになったと思います。

他府省等人事交流

内閣府食品安全委員会事務局に2年間出向しました。食品の健康影響を評価するリスク評価機関であり、農林水産省等のリスク管理機関からの諮問（評価要請）を受けて評価を実施するスキームのため、農薬や添加物、遺伝子組換え食品等について、農林水産省とは異なる視点で捉えることができました。

また、他省庁や民間企業からの出向者が多く、業務の進め方やペーパーレス化のアイデアなど、今後の業務に取り入れたい事例に出会えたことも幸運だったと思います。

テレワークあり

もっと
詳しく読む



島袋 大輝

内閣府沖縄総合事務局農林水産部
農村振興課

2022年採用



地元農業の問題点を基盤整備で解決し、持続可能な農業を目指して

もっと
詳しく読む



日々の仕事とやりがい

農村振興課では、新規国営事業の計画から県や市町村への補助事業採択審査などの業務を担当しています。

現在、過去に行った国営事業で整備した施設の老朽化に伴う補修更新等が必要な施設が増加しています。そのような中で、施設の更新や農業用水の整備に係る国営事業の調査計画にも関わらせていただいています。これは、非常に大きな経験であり、その地域の農業振興に少しでも役に立てると考えると、とてもやりがいがあると感じています。

転勤について

沖縄本島から西に約280kmの位置にある宮古島に転勤しました。私自身沖縄県出身であるものの、宮古島には、プライベートでは一度も訪れたことはありませんでした。そのため、赴任後は、休日を利用して様々な場所に足を運び、宮古島について色々と知ることができました。また、宮古島には、全国的にも珍しい「地下ダム」を造成していることから実際の施工状況も見ることができ、非常に勉強になりました。「転勤」は、こういった経験ができることが魅力だと思います。

有永 心

林野庁中部森林管理局
木曽森林管理署治山技術官

2017年採用



荒れた溪流や崩れた斜面を豊かな森林に戻す

もっと
詳しく読む



日々の仕事とやりがい

治山ダムや山腹工の施工を通して荒れた溪流や崩れた斜面を復旧し、豊かな森林に戻すことを目指して工事の発注や進捗管理を行っています。天候不順で予定通り進まなかったり、施工業者からの問い合わせにうまく対応できず悔しい思いをすることもあります。完成した構造物を目にすると、とても達成感があります。

また、特定の公益目的を達成するために指定された森林「保安林」に関する手続きも担当しています。工事監督と並行するのが大変な時期もありますが、担当である治山に限らず広く業務を知ることができ、やりがいがあります。

転勤について

これまで、長野県内及び静岡県内に所在する森林管理署等と、林野庁本庁で勤務しました。土地や気候が変わると、同じ樹種でも育つ速さや伐採のタイミングが違ったり、木材の搬出方法や事業発注の時期が違ったりと、転勤の度に新しい学びがあります。また、国有林現場は自分たちで目の前の山をどうするか考える機会が多い一方、本庁では、全国かつ一般の所有者が持つ森林まで含めた包括的な視点で物事を考えなければならない機会もあり、それぞれにやりがいと難しさがあると感じています。

育児等に関する両立支援制度

両立支援制度のほか
フレックスタイム制やテレワークを活用するなど
柔軟な働き方ができます

出生サポート休暇 (第二子以降でも使用可能)  不妊治療で通院等をする場合 年5日(体外受精・顕微授精に係る通院等の場合は更に5日)	産前・産後休暇  出産する場合 産前6週間、産後8週間 (多胎妊娠の場合は産前14週間)	保育時間  生後1年未満の子を保育する場合 1日2回それぞれ30分以内で勤務しないことが可能	育児休業  3歳未満の子を養育する場合 配偶者の就業等の状況にかかわらず、原則2回まで取得可能
育児短時間勤務  小学校就学前の子を養育する場合 短い勤務時間 (3時間55分×5日等数パターン) での勤務	育児時間  小学校就学前の子を養育する場合 1日2時間まで勤務しないことが可能 ※令和7年10月からは、1年につき10日相当の時間まで勤務しない形態も選択可能となります	子の看護等休暇  小学校3年生までの子を看護等する場合 年5日(対象となる子が2人以上の場合は年10日)	配偶者同行休業  外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にする場合 3年を超えない範囲内

その他の制度

妊娠中の通勤緩和のための
職務専念義務免除

妊娠中の休息、補食のための
職務専念義務免除

配偶者出産休暇

育児参加のための休暇

休憩時間の短縮・延長

妊産婦の健康診査及び保健指導のための職務専念義務免除

妊産婦の業務軽減等

介護休暇

介護時間

短期介護休暇

超過勤務の免除

深夜勤務、超過勤務制限

早出遅出勤務

その他制度の詳細はこちら ▶



フレックスタイム制



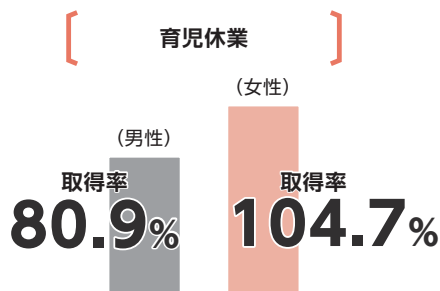
勤務時間数の総量はそのまま、土日のほかに週1日勤務しない日を設定することも可能!

テレワーク



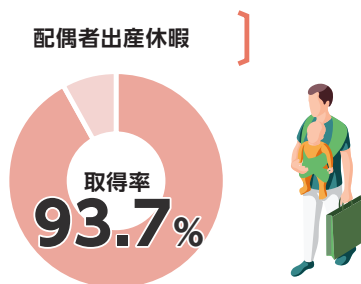
テレワークの円滑な運用を推進する観点からガイドラインを策定!

出産・育児に係る休暇、育児休業制度の取得率

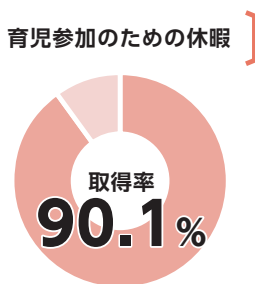


※令和5年度に令和5年度以前に生まれた子についての最初の育児休業を取得した常勤の一般職国家公務員の割合

(注) 令和5年度中に子が生まれた職員に対する割合であり、100%を超えることがある



※令和5年度に子が生まれた男性の常勤職員のうち、令和5年度に配偶者出産休暇を使用した職員の割合



※令和5年度に子が生まれた男性の常勤職員のうち、令和5年度に育児参加のための休暇を使用した職員の割合

STAFF'S VOICE

松永 和也

デジタル庁省庁業務サービスグループ
政府システム認証基盤担当
職員ID基盤 (GPAS) 班

2022年採用



システムでより便利に



利用した制度や働き方改革をした点

デジタル庁ではテレワークが積極的に取り入れられており、私が所属しているチームでもオンライン会議やチャットをベースとしてテレワークでも登庁している時と同じように業務を進めるようになっていました。チャット中心に業務を進めることになるため、言った言わないが最小限となり、各人の担当する業務を明確にしながら効率的に事業を進めることができるようになっていました。

日々の仕事とやりがい

職員ID基盤 (GPAS) 班では、国家公務員等の職員が日々使っている様々な業務システムを1人に1つのIDでログインできるように、政府全体のためのID基盤を整備するため検討を進めています。サービス開始にあたって多くの職員に利用してもらうため、導入にあたって業務プロセスを検討し、運用中の業務システムの担当者等と調整を進めています。新規システムということもあり予算の確保やチームの職員を増員するための調整も重要です。

制度の活用や働き方改革により変化したこと

柔軟にテレワークを活用できるようになっているため、残業が長引いた日の翌日はテレワークに切り替えることもありますし、午前や午後のみ、時間単位でのテレワークも可能となっているため、午後から重要な会議がある時は、午前中はテレワークをして午後から登庁することもあります。テレワークした日の業務後は川沿いをランニングしたり、ゲームや読書をしたりと通勤時間にかかる時間を有効活用できるのも魅力です。



ある一週間のスケジュール

月 (9:30~18:45)	登庁し上長と週のタスクを確認・整理
火 (9:30~19:30)	他省庁システム担当と会議
水 (9:30~19:30)	テレワーク、翌日の資料作成等
木 (9:30~21:00)	班の会議で担当箇所を発表
金 (9:30~18:15)	テレワーク、退勤後翌日の旅行準備



上司や同僚からのコメント

“自由がある働き方”をテーマとしてテレワークを全庁的に推進しており、トップから新人に至るまで幅広くオンラインミーティングを日常的に行っています。コミュニケーションを図るためのツールも充実しており、幹部や上司とのやり取りも気兼ねなく行えます。

▶ 一般職試験（大卒程度試験）の概要

一般職試験は、政策の実行やフォローアップなどに関する事務をその職務とする係員の採用試験です。

≫ 受験資格

21歳以上30歳未満の者（教養区分は20歳以上30歳未満の者が受験可）

（注）年齢は、その試験の名称に掲げる年度の4月1日現在における年齢です。

21歳未満の者で大学卒業（及び卒業見込み）、短大又は高専を卒業（及び卒業見込み）並びに人事院が、これらの者と同等の資格があると認める者は、受験することができます。

≫ 試験種目

試験	行政区分	教養区分	行政・教養以外の区分
第1次試験	基礎能力試験（多肢選択式） 専門試験（多肢選択式） 一般論文試験	基礎能力試験（多肢選択式） 課題対応能力試験（多肢選択式） 一般教養論文試験	基礎能力試験（多肢選択式） 専門試験（多肢選択式） 専門試験（記述式）
第2次試験	人物試験	人物試験	人物試験

実際に出題された問題（過去問）をご覧になりたい方、詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」の「試験情報」をご覧ください。

≫ 試験の区分

「行政」及び「教養」区分における本府省への採用については、それぞれ「関東甲信越地域」からの採用が中心となりますが、全国から優秀な方を採用できるようにする観点から、それ以外の地域からも採用が可能となっています。

	試験の区分	採用時の勤務地等		試験の区分	採用時の勤務地等
行政 及び 教養	北海道地域	北海道	技術系	デジタル・電気・電子	採用予定のある機関の 所在地 （採用時の勤務地は本人の 希望を踏まえて決定します） （採用予定のある機関は 毎年異なります）
	東北地域	青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県		機械	
	関東甲信越地域	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・ 神奈川県・山梨県・新潟県・長野県		土木	
	東海北陸地域	岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・富山県・石川県・福井県		建築	
	近畿地域	滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県		物理	
	中国地域	鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県		化学	
	四国地域	徳島県・香川県・愛媛県・高知県		農学	
	九州地域	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・ 宮崎県・鹿児島県		農業農村工学	
	沖縄地域	沖縄県		林学	

区分別の採用予定機関一覧は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「採用情報」をご覧ください。

▶ 給与・勤務時間など

（令和7年4月現在）

初任給	<大卒程度試験採用> 271,200円 ^{※1} （令和7年人事院勧告反映前の額）
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、単身赴任手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与（ボーナス）	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の4.6月分 ^{※2} （6月、12月に支給）
勤務時間	1日7時間45分 ^{※3}
休暇等	年次休暇20日 ^{※4} 残日数は20日を限度として翌年に繰越し その他、病欠休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始（12月29日～1月3日） ^{※3}

※1 令和7年人事院勧告反映前の額です。本府省勤務の場合（行政職俸給表（一）1級25号俸）。本府省業務調整手当及び地域手当を含みます。

※2 令和7年人事院勧告反映前の平均の支給月数です。勤勉手当は勤務成績に応じて支給され、成績優秀者にはより多い支給月数分が支給されます。

※3 職務の必要等に応じて異なる場合があります。

※4 4月1日採用の場合、採用年は15日となります。

▶ 試験から採用までの流れ



●「合格」＝「採用」ではありません。

一般職試験(大卒程度試験)に合格すると採用候補者名簿(有効期間は5年間、教養区分のみ6年間)に記載されます。採用されるためには、名簿の有効期間中に志望する府省を訪問(官庁訪問)して、内々定を得る必要があります。

▶ 官庁訪問

- 1 官庁訪問は、志望府省を訪問し、業務説明や面接を受けるもので、志望府省に採用されるための重要なステップです。
- 2 「採用試験合格＝採用」ではなく、官庁訪問を経て志望府省の内々定を得ることで採用に至ります。
- 3 志望府省に関する知識を深めるとともに自己PRの重要な機会となります。
- 4 複数の府省を訪問できますので、志望府省を積極的に訪問しましょう。

若手職員体験談

官庁訪問で心掛けたこと、これから官庁訪問する人へ**アドバイス**をお願いします。



自分の言葉で 思いを伝える習慣

Aさん

豊富な専門的知識を持っていることよりも、人間性を重視していると感じ、事前に準備した回答の丸暗記ではなく、日頃から自分の考えをまとめ、自分の言葉で思いを伝えるように心掛けました。

自信を持って 等身大の自分で臨む

Bさん

面接では、明るくハキハキと受け答えるよう心掛けました。自分を必要以上に大きく見せるのではなく、それまで取り組んできたことに自信を持って、国家公務員として何がしたいのかを明確に伝えられるよう意識しました。



Cさん

「一緒に働きたい」と 思わせる姿勢

採用側が「一緒に働きたい」と思うことが一番大切だと思います。私の場合は、「自分が採用側の立場なら、丁寧な受け答えができる人と働きたい」と思ったので、丁寧に挨拶・返事をするように心掛けました。



官庁訪問のルールやスケジュール等の詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「採用情報」をご覧ください。

研修と多様な勤務経験

国家公務員には、研修や他機関への出向等の多様な育成機会が設けられており、本人の希望や適性も考慮のうえ、その機会が付与されます。

人事院が実施する
各種研修の詳細はこちら



官民人事交流

あなたのキャリアに民間企業の経験を!!

国家公務員には、国の機関と民間企業との間の人事交流を通じて、人材の育成、組織運営の活性化等を図ることを目的とした「官民人事交流制度」があります。国家公務員のまま民間企業等で働くことができます（制度ができた平成12年から令和6年末までの間に、延べ829人が民間企業等に交流派遣されています。）。

一般職採用職員の交流派遣先の実例

キリンホールディングス株式会社 サイボウズ株式会社
全日本空輸株式会社 東日本旅客鉄道株式会社
株式会社みずほ銀行 ライオン株式会社

他にも地方機関と地方の民間企業等との官民交流も行っています。

交流派遣を経験した職員の成長実感!!

出身府省の
理解が深まる、
見え方が変わる

民間企業の
ノウハウ、業務手法を
体得できる

自ら考え、
行動する能力、
情報収集能力が
向上する

官民人事交流の仕組み、
有識者・官民人事交流経験者の
インタビュー記事など
詳細はこちら



国内外の大学院への派遣

行政の国際化の進展、複雑・高度化に対応し得る人材を育成するため、人事院や各府省による国内外の大学院への派遣制度が設けられています。こうした制度を利用して、一般職試験で採用された職員が国内外に派遣される機会も開かれています。

行政官長期在外研究員制度

人事院の選抜審査及び大学院の選考に合格した若手職員が外国の大学院（修士課程又は博士課程）に留学できる制度です。

令和6年度の国別留学者数（名）

アメリカ	イギリス	フランス	スウェーデン	ドイツ	シンガポール	中国	オーストラリア	ニュージーランド	カナダ	イタリア	スペイン	フィンランド
74	55	4	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1

主な留学先大学

アメリカ	ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、コロンビア大学、カリフォルニア大学バークレー校など
イギリス	オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、ロンドン大学 (UCL、LSE) など
フランス	パリ政治学院、リヨン政治学院、ストラスブール大学など
スウェーデン	ストックホルム大学など

令和6年度の新規留学者数

148名

※総合職・一般職などを含めた留学者数の合計

行政官国内研究員制度

人事院の選抜審査及び大学院の選考に合格した職員が国内の大学院（修士課程又は博士課程）で研究できる制度です。

主な派遣先大学

筑波大学大学院、政策研究大学院大学、東京大学大学院、一橋大学大学院など

※令和7年度の新規派遣者数 27名

▶ 一般職試験（大卒程度試験）府省等別・試験の区分別採用状況

（令和7年4月1日現在）

府省等 試験の 区分	行政	デジタル・ 電気・電子	機械	土木	建築	物理	化学	農学	農業 農村工学	林学	合計
会計検査院	26 (13)	1				1	1 (1)				29 (14)
人事院	16 (13)										16 (13)
内閣官房	9 (4)		1 (1)			1	1 (1)				12 (6)
内閣法制局	2 (2)										2 (2)
内閣府	26 (14)		2				3 (2)	1 (1)	1		33 (17)
デジタル庁	5 (3)	5 (1)									10 (4)
宮内庁	11 (7)	1			3 (2)					1 (1)	16 (10)
公正取引委員会	18 (11)										18 (11)
警察庁	45 (27)	16 (4)	3 (1)	1		5 (1)	5 (2)	7 (1)			82 (36)
個人情報保護委員会	4 (3)										4 (3)
カジノ管理委員会	3 (1)										3 (1)
金融庁	26 (16)										26 (16)
消費者庁	5 (4)										5 (4)
こども家庭庁	16 (9)										16 (9)
総務省	111 (48)	10 (2)				1 (1)	3 (3)	1			126 (54)
法務省	226 (115)	1			1						228 (115)
検察庁	229 (110)										229 (110)
出入国在留管理庁	142 (84)										142 (84)
公安調査庁	65 (26)	1									66 (26)
外務省	6 (3)	1	1		1 (1)						9 (4)
財務省	11 (4)	1									12 (4)
財務省財務局					2 (1)						2 (1)
財務省税関	230 (113)	2	1 (1)			1	12 (5)	6 (4)			252 (123)
文部科学省	25 (11)	2		1			1	2 (1)			31 (12)
厚生労働省	560 (292)	1									561 (292)
農林水産省	193 (114)	3 (1)		2 (1)	1		3 (1)	84 (45)	32 (10)		318 (172)
林野庁	27 (9)									76 (27)	103 (36)
水産庁	14 (10)										14 (10)
経済産業省	107 (49)	2	2	6 (3)		1 (1)	7 (1)			2 (2)	127 (56)
特許庁	40 (27)										40 (27)
国土交通省	422 (155)	23 (3)	23 (1)	137 (24)	15 (7)	17 (1)	7 (3)	20 (4)	5 (1)	10 (2)	679 (201)
気象庁	28 (18)	7 (1)		15 (2)		69 (14)	13 (8)	11 (3)	1 (1)	4 (1)	148 (48)
運輸安全委員会	1 (1)			1 (1)							2 (2)
海上保安庁											
環境省	26 (19)			2	1	1 (1)	3	3 (2)	1	11 (5)	48 (27)
原子力規制庁	9 (4)		2				2 (2)	1			14 (6)
行政執行法人	22 (11)	2	4 (2)				14 (7)	15 (8)		1	58 (28)
防衛省	184 (57)	9	4	1	1 (1)	1	2 (1)				202 (59)
防衛装備庁	25 (6)	3	6				4				38 (6)
衆議院事務局		1			1						2
衆議院法制局											
合 計	2,915 (1,413)	92 (12)	49 (6)	166 (31)	26 (12)	98 (19)	81 (37)	151 (69)	40 (12)	105 (38)	3,723 (1,649)

（注1） 2024年度一般職試験（大卒程度試験）の合格者で最終合格者発表日以後令和7年4月1日までの間に採用された者の数です（過年度試験の合格者で同期間に採用された者を含む。）。

（注2）（ ）内の数字は、女性の内数です。

令和9年4月の採用予定数は、令和8年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。
その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。
なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

女性の登用状況などの
情報は、女性活躍推進法
「見える化」サイト等で
ご覧いただけます。



人事院地方事務局（所）の連絡先

北海道事務局	Tel. 011-241-1248	〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目
東北事務局	Tel. 022-221-2022	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23
関東事務局	Tel. 048-740-2006	〒330-9712 さいたま市中央区新都心1-1
中部事務局	Tel. 052-961-6838	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1
近畿事務局	Tel. 06-4796-2191	〒553-8513 大阪市福島区福島1-1-60
中国事務局	Tel. 082-228-1183	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30
四国事務局	Tel. 087-880-7442	〒760-0019 高松市サンポート3-33
九州事務局	Tel. 092-431-7733	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1
沖縄事務所	Tel. 098-834-8400	〒900-0022 那覇市樋川1-15-15

国家公務員試験や採用に関する最新の情報はこちらをチェック！



国家公務員試験採用情報NAVI

<https://www.jinji.go.jp/saiyo.html>

Youtube

https://www.youtube.com/channel/UCTk_x9QBe3EnDPSP2a0DrQg



X(旧Twitter)

https://x.com/jinjiin_saiyo

Instagram

<https://www.instagram.com/jinjiin.saiyo/>



Threads

<https://www.threads.net/@jinjiin.saiyo>

メールマガジン

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga.html>



note

<https://fusyououdan-jinji-gov.note.jp/>

内閣人事局のホームページ 国家公務員 CAREER GUIDE

<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjiyoku/recruit/index.html>



お問い合わせ

人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

人事院ホームページ

<https://www.jinji.go.jp/top.html>



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2025年10月発行